

# 2022年台湾に 投資しよう



2022年4月

アジアで最も信頼できる革新的な提携パートナー

<https://investtaiwan.nat.gov.tw>

# プレゼンテーション概要



台湾を選ぶ理由：  
台湾投資環境の優位性



投資機会



投資奨励



投資サービス



# 台湾を選ぶ理由

- 信頼度が高く、レジリエントなサプライチェーンを持つ最良のパートナー
- 高度に発展した産業クラスター
- 豊富な研究開発能力
- 優秀な人材
- 健全な知的財産保護制度
- 快適な生活環境

**最良の投資地**  
**世界No.4**  
**(アジアNo.2)**

2021米国ビジネス環境リスク評価会社（BERI）『投資環境リスク評価レポート』

**世界競争力**  
**世界No.8**  
**(アジアNo.3)**

2021年スイス・ローザンヌの国際経営開発研究所（IMD）『世界競争力レポート』

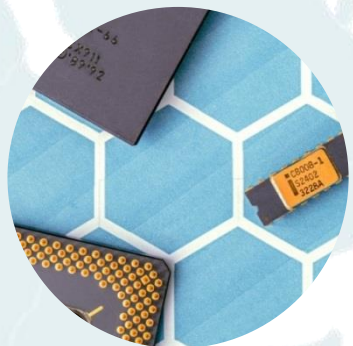


# 台湾を選ぶ理由-信頼度が高く、レジリエントなサプライチェーンを持つ最良のパートナー



## ▶ 新たなチャンス

- ・ グローバル企業の展開調整
- ・ 信頼でき、強靱なサプライチェーンパートナーを探す



## ▶ 新たな技術

- ・ 新興半導体-2025年の市場規模は6,000億米ドルに達する
- ・ 5Gのアプリケーション-2025年の市場規模は1.33兆米ドルに達する
- ・ AIのビジネスチャンス-2025年の市場規模は11兆米ドルに達する



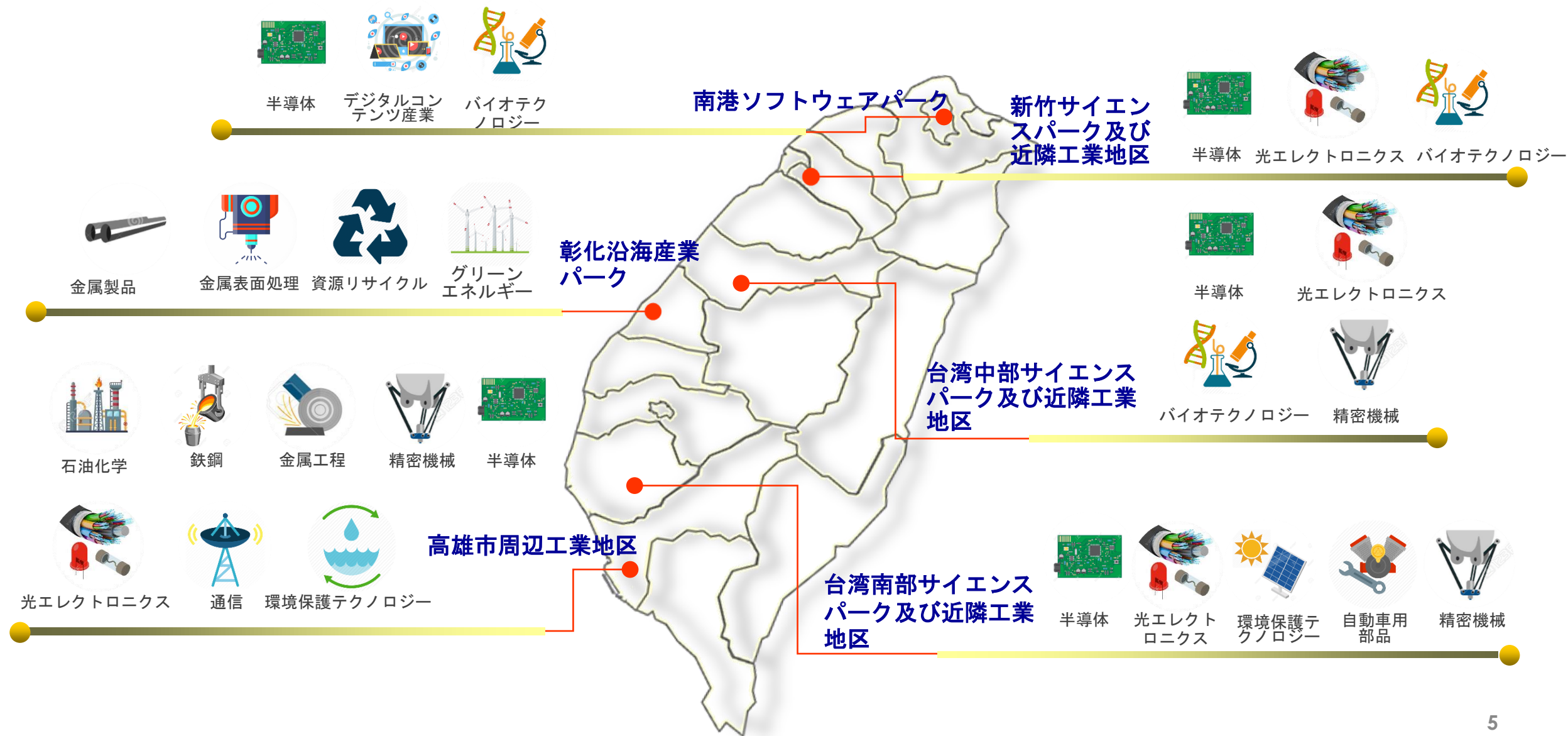
## ▶ 新たな需要

- ・ 防疫関連製品とシステム
- ・ 新しい業務形態の形成
- ・ 非接触経済

## 台湾の新たな価値・ 新たな位置づけ 革新、信頼、安全



# 台湾を選ぶ理由-高度に発展した産業クラスター





# 台湾を選ぶ理由-豊かな開発能力



財団法人生物技術開発中心  
Development Center for Biotechnology

財団法人生物技術開発  
センター



財団法人  
紡織産業総合研究所  
Taiwan Textile Research Institute

財団法人紡績産業総合研究所



財団法人資訊工業策進會  
INSTITUTE FOR INFORMATION INDUSTRY

財団法人資訊工業策進会



金屬工業研究發展中心  
METAL INDUSTRIES RESEARCH & DEVELOPMENT CENTRE

金属工業研究発展センター



工業技術研究院  
Industrial Technology  
Research Institute



工業技術研究院



車輛研究測試中心  
Automotive Research & Testing Center

財団法人車両試験研究  
センター



財団法人塑膠工業技術發展中心  
PLASTICS INDUSTRY DEVELOPMENT CENTER

財団法人プラスチック工業  
技術發展センター



中國生產力中心  
China Productivity Center

財団法人中国生産力  
センター



# 台湾を選ぶ理由-優秀な人材



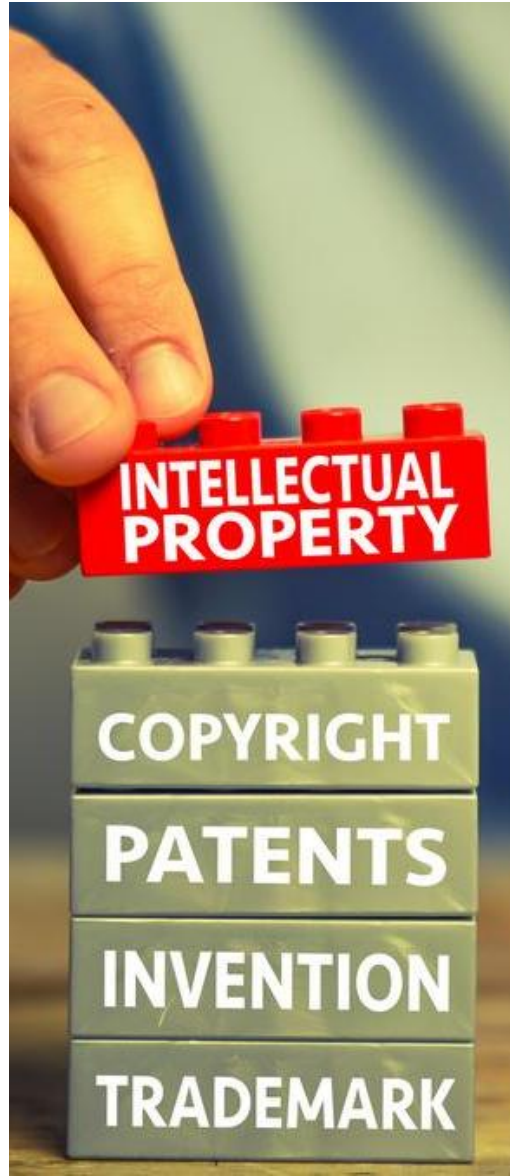
## 「2021年IMD世界人材レポート」ランキング

- 台湾は世界ランキング **#16**、アジアでは **#3**
- 人材の準備度 **#9**
- 人材への投資と発展 #20
- 人材の誘致と確保 #22

## 教育レベル

- 2020年の**大学以上の学歴**を有する者が総労働力人口に占める割合は53.08%
- 2020年の**修士以上の学歴**を有する者が総労働力人口に占める割合は8.82%

# 台湾を選ぶ理由-健全な知的財産保護制度



**健全な法規制度**：2021年7月1日より「商業事件審理法」および「知的財産及び商業裁判所組織法」が施行され、専門裁判官および調査官を設置して、ビジネス案件の処理効率を向上させている。

**多国と特許審査ハイウェイ（PPH）を締結**：台湾はすでにアメリカ、日本、韓国、ポーランド、スペイン等国家とPPHを締結し、特許案件の審査を迅速化している。

**知的財産及び商業裁判所の設置**

**知的財産権保護警察チームの設立**

**経済自由度が国際的に認められる**：上記の措置が国際的に認められ、米国ヘリテージ財団が発表した『2021経済自由度指数』（2021 Index of Economic Freedom）によると、台湾は世界の184経済体のうち、**第6位にランクイン**した。





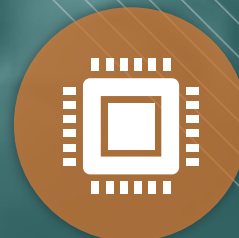
# 台湾を選ぶ理由-快適な生活環境

アジア第1位、世界第1位（2021「Expatriate Insider」調査）



# 投資機会

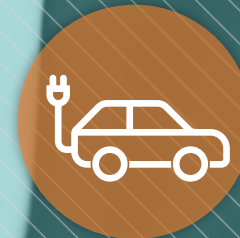
## 六大コア戦略産業 5+2 イノベーション産業



半導体



アジア・  
シリコンバレー



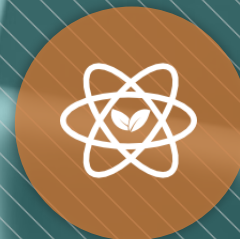
次世代自動車



スマート機器



バイオ  
メディカル



グリーンエネルギー  
テクノロジー



防衛産業



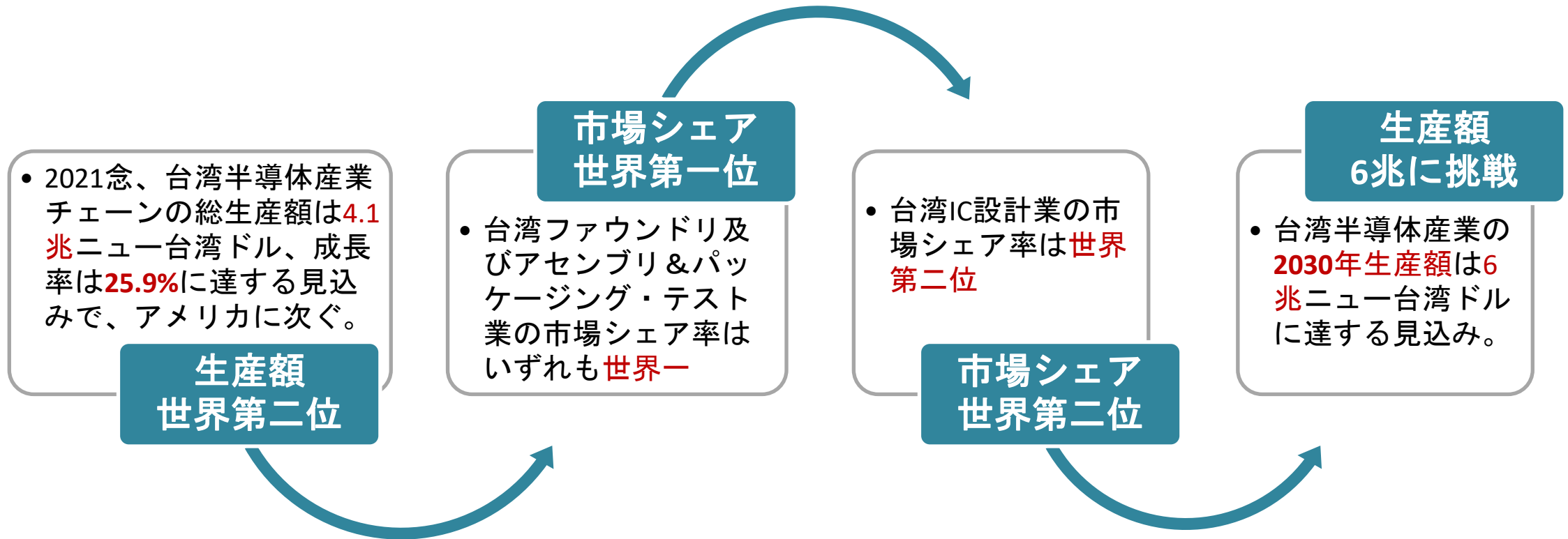
循環型経済



新農業

# 投資機会-半導体 | 実力とビジョン

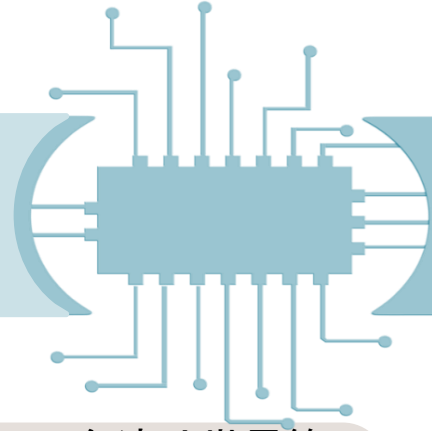
台湾半導体産業は現在、世界のハイテクノロジー・イノベーション開発における重要なパートナー及び後ろ盾へと発展を遂げている





# 投資機会-半導体 | 商機

台湾は半導体産業クラスタという強みがあり、クリティカルマスによって、周辺サプライチェーンの莫大な市場ニーズの促進が可能



2020

- 世界の半導体製造設備売上額は689億米ドルに達し、史上最高記録となったが、その内で、台湾は世界第二位の設備ニーズ市場となっている。
- 世界の半導体材料売上額の年間成長率は4.9%で553億米ドルに達し、史上最高記録となった。中でも、台湾の市場売上額は年間8.2%成長し、123.8億米ドルに達しており、すでに11年連続で世界最大の半導体材料市場となっている。

2021

- 世界の半導体製造設備売上総額は2020年に比べて34%成長し、653億米ドルに達した。その内、台湾の半導体設備投資は1,618億元に達し、世界で二番目に大きい市場となった。
- 世界のファウンドリ及びメモリ生産能力の投資はアジア地域が主要で、中でも台湾はファウンドリの生産能力において、世界をリードする地位にある。

2024

- 2021～2024年における台湾ファウンドリの年平均成長率は10.5%、IC設計は7.9%、メモリは7.5%、ICアセンブリ & パッケージングは7.2%に達する見込みである。

# 投資機会-半導体 | 成功事例



- メモリ業界の世界大手メーカーであるマイクロン・テクノロジーは2019年、台中にある中部サイエンスパークの生産ラインを拡大し、クリーンルーム設備の増加や技術をグレードアップさせた。その内のA3新工場は2021年6月より始動している。

- ドイツ大手半導体設備メーカーのSUSSは、2019年8月に5億ニュー台湾ドルを投資して新竹サイエンスパークに進駐。2020年12月には新竹サイエンスパークにある生産製造センター（当社にとってアジア初の工場）を始動させ、スピンコータ・デベロッパや、スキャン式露光装置、フォトマスク製造工程設備等、フォトリソグラフィ工程におけるキー設備を開発製造している。



- 世界最大の半導体およびディスプレイ設備メーカーであるAMATは、世界技術訓練センター（GTLC）、ディスプレイ設備製造センター、開発実験室、8インチウェハー設備製造センター、アジア設備部品物流センターに引き続き、30億ニュー台湾ドル以上を費やして、台湾に世界初のディスプレイ設備製造&開発基地を設置し、2019年より正式に始動した。

- 日本の大手半導体化学材料メーカーであるトクヤマは、新竹、雲林工場に引き続き、2020年9月に台湾プラスチックグループと合併会社の「台塑徳山精密化学股份有限公司」を設立することを発表。双方はそれぞれ10億ニュー台湾ドルを出資して、高雄に高純度IPAの工場を建設し、半導体5ナノメートル及び3ナノメートルの先進プロセス商機を攻める。



# 投資機会-5G/AIOT-アジア・シリコンバレー2.0

## 戦略

1

AIoTテクノロジー応用の拡大

2

スタートアップ発展環境の向上

3

システム出力エネルギーの集結



## 目標

3 社

世界的なシステム  
統合企業を育成

5 %

2025年のIoT生産額  
の世界シェア率

20 件

AIoTソリューション海外輸出

40 件

多様なスタートアップを促進

200 社

スタートアップ  
事業の成功を促進



# 投資機会-5G/AIOT IoT 商機



## スマート交通

スマート街灯及び  
スマート路上駐車ソ  
リューション



## スマートホーム

老朽化した建築物の  
スマート改築及び  
公有建築物の革新



## スマート製造

インダストリー4.0ナシ  
ョナルチームを発展させて  
技術的独立を実現



## スマート医療

スマート医療保健プラッ  
トフォームとスマート医療ソ  
リューション



## スマート農業

ドローンモニタリ  
ング及びIoT農業技術



## スマート商業

スマート小売業及びスマート  
商業コミュニティ



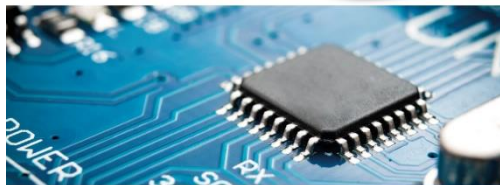
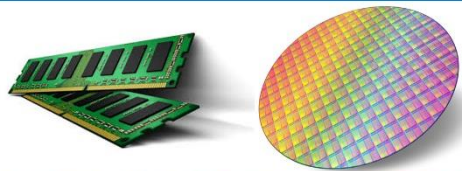
## スマート物流

スマートコールドチェーン  
物流管理



## スマートグリッド及び 環境モニタリング

# 投資機会-5G/AIOT 成功事例



- 米国企業Qualcomm（クアルコム）は5G及びAI時代の到来に対応するため、台湾の確かな研究開発能力とICTエコシステムを考慮して、台湾運営・製造プロセス及び試験センターと台湾イノベーションラボを設立した。



- ビッグ・テックのGoogleは台湾でアジア最大のエンジニアチームを展開しており、2020年1月に全く新しいオフィスパークを始動させている。また、同年9月には雲林斗六にて3ヶ所目のデータセンターを設立し、「スマート台湾プロジェクト」を通して、デジタル人材、YouTube及び開発者コミュニティの育成を行うことを発表した。



# 投資機会-5G/AIoT 亜洲新湾区

- ✓ 台湾政府は2020年の下半期より「亜洲新湾区5G AIoTイノベーションパーク」計画を推進しており、高雄市政府及び中央政府が各省庁の枠を超えたエネルギーを結合させて、5年間で110億ニュー台湾ドルをパークの開発、人材センターやスタートアップハブ、5G AIoTスマート設備の建設に投入する。
- ✓ 2020年11月には、高雄市政府、中央政府、台湾マイクロソフト、台湾シスコシステムズ、Amazon傘下のクラウドサービス業者AWS等、世界的な大手企業と、中華、遠傳等国内電信業者が「亜洲新湾区5G AIoT国際メジャーリーグ」を結成し、共に高雄亜湾区へ進駐している。
- ✓ 2021年12月に經濟部が設立した「亜洲新湾区におけるスタートアップ・パークと5G AIoTプロジェクトオフィス」が開設されました。成功大学は高雄ソフトウェアパークに設置された「スマート半導体・持続可能な製造学院」に入居しました。2つのプロジェクトは、亜洲新湾区の新産業に、より多くのビジネスチャンスと付加価値をもたらします。





# 投資機会-次世代自動車 能力とビジョン

AM  
&  
OEM

台湾の自動車部品は国内販売のほか、北米やEU等市場にも大量に輸出しており、アフターメンテナンス（AM）及び委託製造（OEM）市場においても一定の地位を占めている。



台湾はリチウム電池、駆動モーター、減速ギア、エネルギー貯蔵システム、電力制御モジュール、動力制御システム、車載データ通信システム等分野において、世界的な自動車メーカーの電動車サプライチェーンに進出している。



現時点において、TESLAの供給業者は70%以上が台湾企業である。



2030年の目標は、旅客輸送のバスを完全に電化することです。そして、「スマート電気バスプログラム」を通じて、国内の電気バスおよび主要部品メーカーは、アップグレードと開発に投資し、国内外における主要なメーカーのサプライ・チェーンに参入することが奨励されます。

# 投資機会-次世代自動車 商機



## 強烈な需要

2020年、コロナ禍においても、世界の販売数は依然、前年比40%を超える成長率で310万台に達し、自動車販売数全体における比重は、2019年の2.5%より4.4%まで上がった。

2025年、世界の電動車販売数は1,500万台近くに達し、2030年には2,500万台に達する見込みで、それぞれ、全ての道路車両販売数の10%及び15%を占めることになる。



## イノベーション提携

台湾の車両、機械、材料産業サプライチェーンは健全かつ技術が優れており、電子産業技術（自動車通信、安全システム、走行補助システム等）の優位性を具えている。さらに、少量多様が可能で、生産における柔軟性があり、車両産業発展のニーズに合わせて、異分野のイノベーション提携が展開できる。



## 安全なサプライチェーン

大手自動車メーカーは、台湾の自動車及び部品業やデータ通信業の既存の基礎を利用し、台湾を中心としたネットワークを築くことで、サプライチェーンのリスク分散を行い、キー部品のバックアップ生産基地や供給源を確保することが可能。

# 投資機会-次世代自動車 成功事例

## MIH電動車連盟

世界の43の国／地域より千社以上もの企業（ソフトウェア・ハードウェア、サービス等分野を含む）が、鴻海が2020年10月に発表したMIHプラットフォームに加入しており、電動車の開発速度を加速させている。

## アメリカGPU企業NVIDIA

2019年に台湾科技部及び所属の国家実験研究院とMOUを締結して、台湾の自動運転車産業発展に参入。さらに、台湾自動運転車テスト実験室（Taiwan CAR Lab）とも提携している。



## 日本電産（Nidec）

2021年7月、鴻海、鴻華先進と共同して、台湾に合弁会社を設立し、モータ電機システム及び各種自動車用電機関連製品の開発、製造、販売等業務を行なうことを発表した。

## テュフ・ラインランド（TÜV）

2019年8月に林口にて新しいIoTラボを設立し、最新設備を導入して、台湾でIoV及び関連のテストサービスを発展させている。



# 投資機会-スマート機器| 能力と展望



## 工作機械及び関連部品

世界第7位の製造国  
世界第5位の輸出国



## ハンドツール

世界第3位の輸出国



## 航空宇宙産業

軍用級メーカー



## 木工機械

世界第4位の輸出国



## 光エレクトロニクスパネル

世界第2位の規模

## 産業機械のスマート化



## スマート機器産業化

### リソースプラットフォーム

- ・ 研究開発クラスター
- ・ 産業横断型人材の育成
- ・ 国際提携及びM&A

### 先端工業のニーズに対応

- ・ 航空宇宙
- ・ スマートロボット
- ・ 精密医療機械加工
- ・ 情報通信技術設備

### グローバルに拡張

- ・ 海外市場輸出販売拡大

# 投資機会-スマート機器| 台湾サプライチェーン

## メインシャフト

羅翌科技、普森精密主軸、  
旭泰精密機械

## 軸受

東培軸承、Crocodile、  
上銀科技

## 工作機械

長茂科技、銓宝工業、  
耐久切削工具、丸栄機械

## ツールマガジン

徳大、臻賞工業、吉輔

## 回転台／回転盤

旭陽国際精機、宝嘉誠、  
潭興精工

## 伸縮カパー

台湾引興、尚園科技

## 板金

台湾引興

## 油圧装置

彰化振栄油機、中日流体  
伝動

## モーター／ドライブ

## リニアガイドレール

上銀科技、銀泰科技

## ボールねじ

上銀科技、銀泰科技

## 制御装置

宝元数控、新代科技、  
台達電子

## スマートおよび機械加工技術

## ターンキーシステム

東台精機、台中精機、  
東碩資訊、永宏電機

## 機械電子

東台精機、百徳機械、  
友嘉実業、崑立機電

## 機械加工

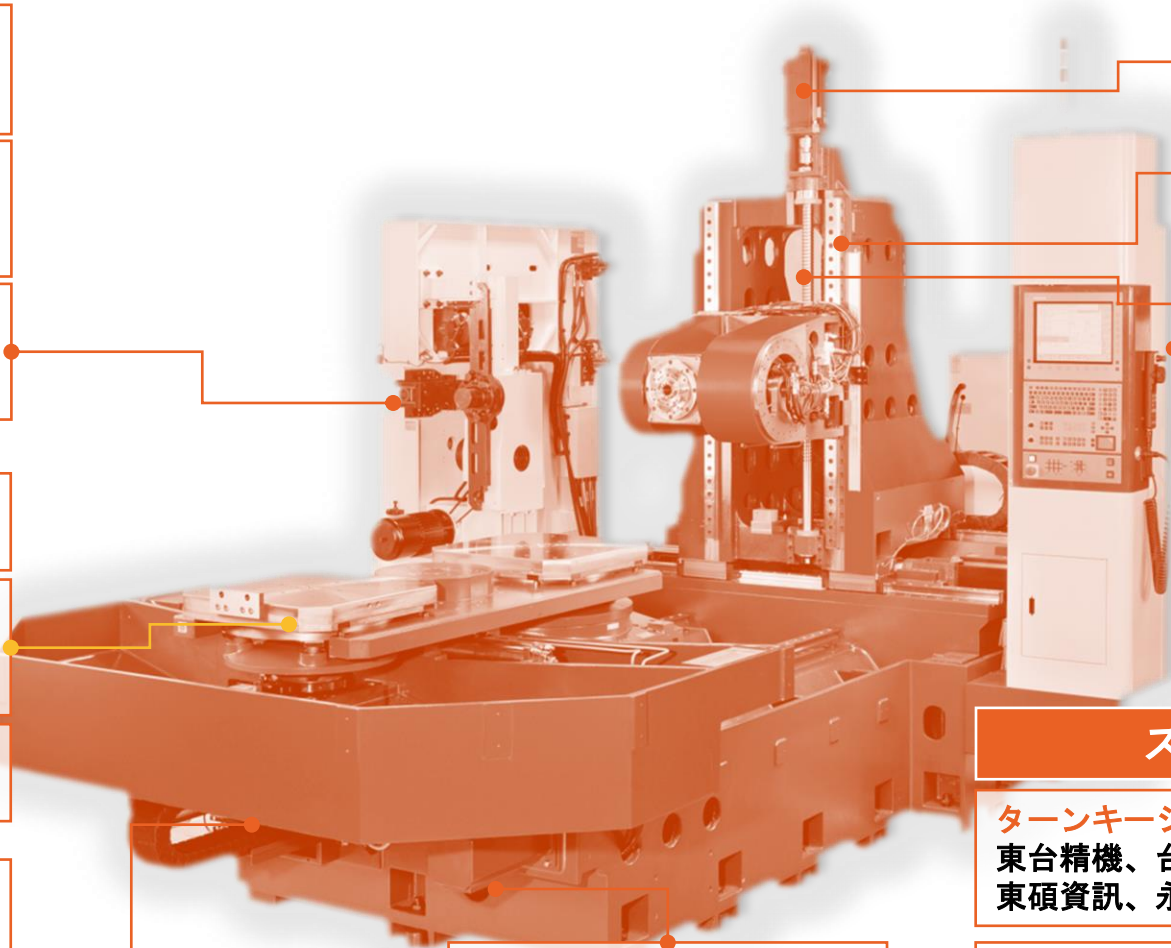
東台精機、台中精機、百徳  
機械、崑立機電、協鴻工業

## 診断

東台精機、百徳機械、  
崑立機電、協鴻工業

## 鋳物

穎杰鋳造、源潤豊鋳造、  
台中精機



# 投資機会-スマート機器| ビジネスチャンス

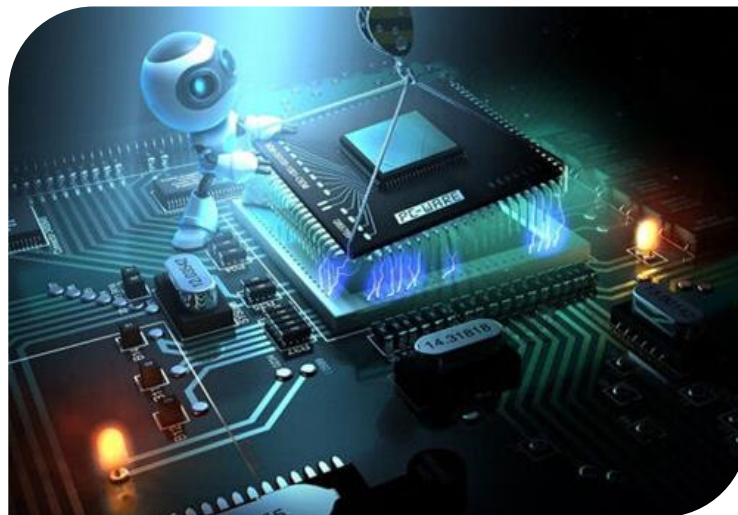
## データ通信技術を 結合させて布石を打つ インダストリー4.0先行技術

- デジタルシミュレーション及び分析
- 製品ライフサイクルの管理
- ビッグデータ分析
- 機械学習
- 人工知能 (AI)



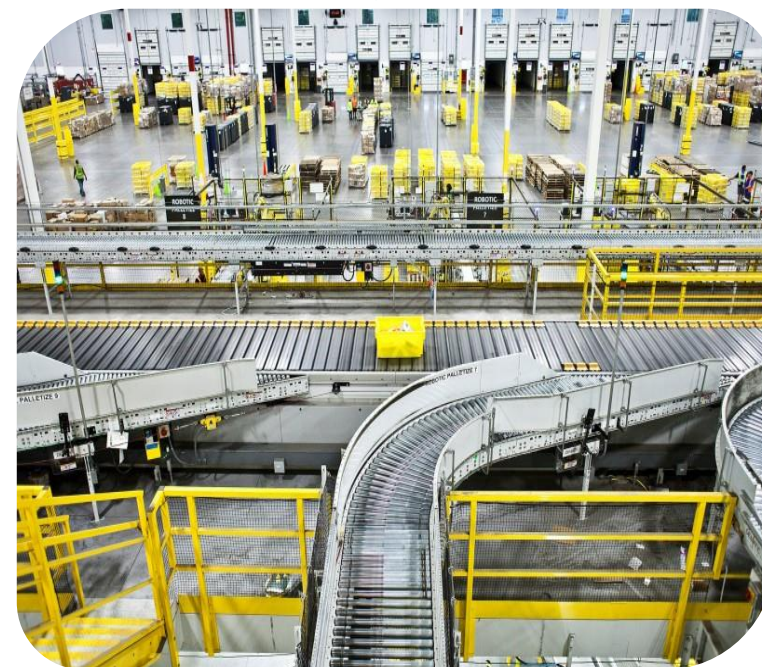
## ソフトウェア・ハードウェア のエネルギーを統合 産業のスマート化を実現

- スマートセンサー
- 工業用及びサービス型ロボット
- 半導体前工程及び最先端パッケージング
- 3Dプリント
- 航空宇宙工作機械及び最先端制御装置



## カスタマイズ・トータルソリューション を開発

- スマートファクトリー統合ソリューション
- 産業別スマート製造システム





# 投資機会-スマート機器 | 成功事例



## YASKAWA

- 7軸ロボット及びサーボモータの世界的なリーディングカンパニーである日本の安川電機（Yaskawa Electric）は、2018年に2億ニュー台湾ドルを投資して、ロボット開発および展示センターとして中部サイエンスパークに工場を建設し、現地の精密機械業者のスマート製造への方向転換に協力して、AI時代のモデルチェンジを加速させている。
- 2021年6月に正式にオープンします。



- 米企業Rockwell Automationは2018年より、台湾にて大規模な投資計画を始動させており、台中に「スマート製造台湾デモンストレーション基地」を設置して、「自動化産業人材育成計画」も始動している。
- 2020年には、台湾製薬会社のAPM導入に協力し、スマート化システムを迅速に構築して、台湾におけるバイオテクノロジー製薬のイノベーション応用推進の指標的な事例となった。
- スマート製造や低炭素傾向に対応すべく、台湾にて半導体業設備予測メンテナンスシステム、IIoT、重工業省エネ設備を積極的に開発していく。



# 投資機会-バイオテクノロジー・医薬|

## 2025年にアジアの医療の中心となる



### イノベーションクラスタの統合

- ・ 薬品の開発を迅速化し、地方の特色ある医療設備と産業クラスタを統合して、産業生産額の成長を促進

### エコシステムの完備

- ・ 人材、資金、テーマ選択、知的財産、法規、資源という6大側面を強化し、イノベーション効果を向上させる

### 特色ある重点産業を推進

- ・ ニッチ型精密医療の発展
- ・ 国際レベルの特色ある診療所クラスタの発展
- ・ 健康福祉産業の推進

2025年  
の目標

\$ **300**  
億米ドルの  
生産高

**20**  
新薬の国外  
発売を推進

**80**  
高付加価値医療機器の  
国外発売を促進

**10**  
健康サービス旗艦  
ブランドを推進



# 投資機会-バイオテクノロジー・医薬| ビジネスチャンス



## 処方薬

- 世界人口の高齢化と新治療法の推進により、2023年の薬品市場は**1.5兆米ドル**に達する見込みである。
- 2021年規制緩和：
  - 1) 衛生福利部は、最新修訂方案である『特定医療技術検査医療機器の実施または使用管理方法』（略称は「特管方法」）に実験室開発検査（LDTs）規範を編入することと、細胞治療を指示することを公表した。
  - 2) 行政院では「バイオテクノロジー医薬産業発展条例」の草案が通過し、CDMOが奨励範囲に編入される予定である。

## 医療機器

- 2022年の世界医療機器市場の規模は**4,753億米ドル**に達すると予測されており、そのうち米州、西ヨーロッパ、アジア太平洋地域が世界三大市場となっている。
- 台湾のデータ通信産業は健全なサプライチェーン及び産業クラスタという優位性があり、コンパル・エレクトロニクスやウィストロン等業者は医療産業と提携して、積極的にスマート医療分野へ参入している。





# 投資機会-バイオテクノロジー・医薬| 成功事例

## スイス製薬大手ロシュ（Roche）

- 台湾で50年以上深耕し、2020年8月には彰化キリスト教病院と共に、初のアジア太平洋地域スマート医療及び臨床的意思決定のデモンストレーション基地を設立した。
- 2021年3月には台湾衛生福利部、国家衛生研究院と共同で「がん精密医療及びバイオデータベース統合プラットフォーム」を推進して、デモンストレーション・プロジェクトを連携する。
- 2021年6月にはGenconn Biotechと共に自宅用新型コロナウイルス抗原検査キットを発売し、台湾で自宅簡易検査が開放された後で初めて許可を受けた製品の一つとなった。

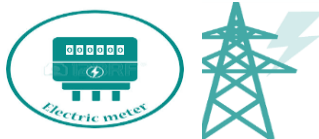
## 米企業MSD

- 台湾で当社最大の臨床研究チームを設立し、高品質な臨床操作、専門的かつ流暢なプロセス等、アジア太平洋地域の医療イノベーションセンターとなるポテンシャルを持っていると台湾の臨床試験環境を高く評価している。
- 2021年7月には台湾大学病院、桃園病院と連携して、COVID-19内服治療薬「Molnupiravir」の第3期臨床試験を行ない、すでに試験完了および使用申請に取り掛かっている。



# 投資機会-グリーンエネルギー | 発展戦略

システム・イン  
テグレーション



エネルギー生成



エネルギー蓄積



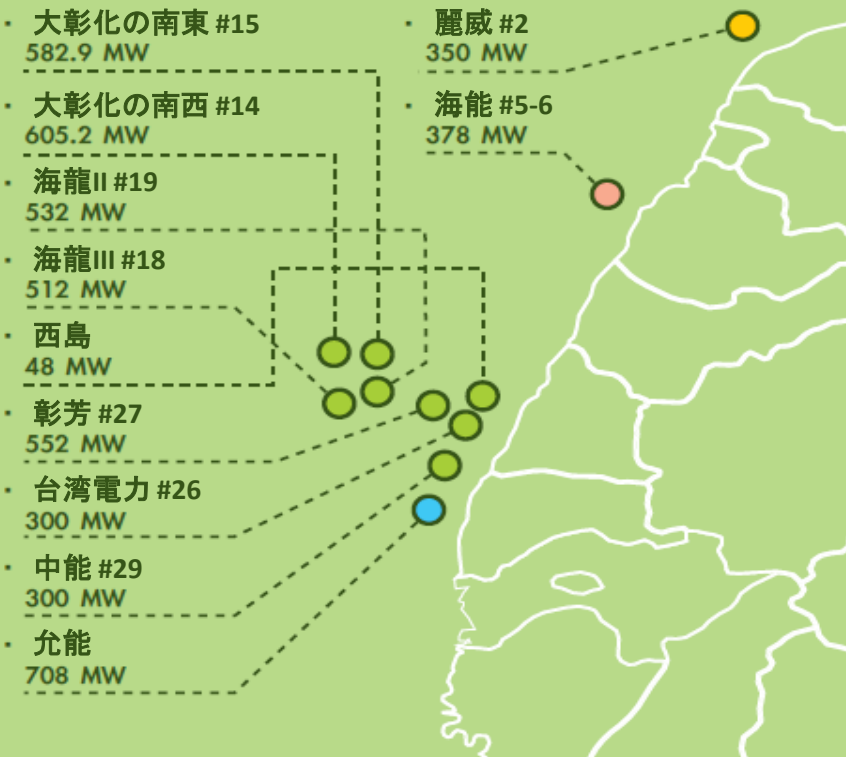
省エネ



## 台湾風力発電用地選定の状況

【ポテンシャル工場用地容量分配区域の分布】

| 区域 | 容量       | 割合    |
|----|----------|-------|
| 桃園 | 350 MW   | 6.3%  |
| 苗栗 | 378 MW   | 6.9%  |
| 彰化 | 4,064 MW | 73.9% |
| 雲林 | 708 MW   | 12.9% |
| 総計 | 5,500MW  | 100%  |



出典：經濟部エネルギー局

# 投資機会-グリーンエネルギー |

## 沙崙スマート・グリーンエネルギー・サイエンスシティ

2020年末、台南「沙崙スマート・グリーンエネルギー・サイエンスシティ」が落成、正式に始動

### 1 台湾自動運転車テスト実験室



低速車両の都市道路走行デモンストレーション及び製品テスト

### 2 グリーンエネルギー循環住宅パーク



台湾糖業公司、「購入選択権付リース」式経営を採用、循環型経済をコンセプトとした建築設計を導入

### C 聯合研究センター



スマート・スタートアップ関連産業の導入

### E 中央研究院南部院区



農業バイオテクノロジー、持続可能な循環型社会、台湾文化歴史等研究項目の発展を計画

### D デモンストレーションエリア



テスト及び実証試験、グリーンエネルギーテクノロジー展示プラットフォームの設立、異なるグリーンエネルギーを応用した生活環境のデモンストレーション

### B F X 産業専用区



企業の研究開発ビル建設に提供

### A エキシビションセンター



文化観光資源及び強み産業を結合させ、産業発展のプラットフォームとして、地域の発展を促進させる



- 革新的なグリーンエネルギー産業エコシステムの構築を目標に
- 中央研究院南部院区、連合研究センター、クリーンエネルギーテクノロジー実証エリア、開発専区、エキシビションセンター等もカバーしている
- 「クリーンエネルギーテクノロジー実証エリア」は、グリーンエネルギーテクノロジーの開発及びデモンストレーション環境を造り上げ、グリーンエネルギーテクノロジーの開発や産業のテスト検証、マッチング・プラットフォームを提供することで、グリーンエネルギー産業チェーンのクリティカルマスを促す。



# 投資機会-グリーンエネルギー | ビジネスチャンス

## 太陽光発電のビジネスチャンス= 新台幣ドル1.2兆

- 太陽光発電は2025年に累積導入量が20 GWに到達
- 太陽光発電モジュールメーカーと大型 (> 10MW) 太陽光発電システム工程技术への投資を含む

## 風力発電のビジネスチャンス= 1.5兆ニュー台湾ドル

- 2025年の累積導入量目標は6.5 GW
- 2026～2035年、毎年1.5GWの開発容量
- 洋上風力発電タワー、着床式基礎、陸上運輸、海事作業船、海事工事、風力発電機部品、電力設備、第三者検証センター等を含む

## 成功プロジェクト



カナダNorthland Power



台湾国際造船



シーメンスガメサ・  
リニューアブル・エネルギー



海龍洋上風力発電プ  
ロジェクト

- 2019年より、シーメンスガメサは台中港洋上風力発電国産化専区にてナセル組立工場を建設し、進駐業者の中で初めて工場を建設した業者となった。
- 2021年8月より正式に生産を開始し、台湾で初の現地ナセルの組立に成功して、ヨーロッパ以外の地域で唯一の洋上風力発電機ナセル組立工場となった。

# 投資機会-循環型経済 | ビジネスチャンス



## 高付加価値・新グリーンエネルギー材料

|                          |                            |                              |
|--------------------------|----------------------------|------------------------------|
| <b>US\$33</b><br>億<br>投資 | <b>US\$100</b><br>億<br>生産高 | <b>US\$400</b><br>億<br>関連生産高 |
|--------------------------|----------------------------|------------------------------|

- 35種の高付加価値新材料
- 20種の新グリーンエネルギー材料

## リサイクル

**6,000 kg／月**  
レアアース・レアメタル廃棄後  
処理・収集されることは非常に少ない

- 台湾は工業廃棄物と普通廃棄物のリサイクル方面で世界トップに位置づけ
- 回収されたペットボトルやコーヒー滓等は布の原料とすることができる

**YouBike利用者延べ人数1億を突破**



**コーヒー滓で紡績品を**



**台積電のリサイクル率 96%**



**再生原料を使用して服を製作**



# 投資機会-循環型経済 成功事例



- 市場で迅速に成長するニーズに対応すべく、スウェーデンのエアフィルター業者Camfilは2021年3月、台南にて新工場の運営を開始した。
- その後は現地生産によって運輸時間を短縮させることで、絶え間ない成長を続ける半導体、生命科学、タービン機械産業を支えている。



- 世界最大規模の総合環境サービス会社であるフランスのヴェオリア・エンバイロメント は、2020年8月に台湾の医薬品原料業者SCI Pharmtechと契約を締結し、化学溶剤を精製化して再利用する循環型経済の商機を共に展開していく。
- 双方は約3億ニュー台湾ドルを投資して台湾に合併会社を設立し、2年後より試験的に運営を開始する予定。



- 燃料電池用触媒の世界市場において最大シェアを誇る、日本の田中貴金属（Tanaka）は、台湾で35年以上深耕し、主に希少金属の精製や精確分析技術を展開させており、今後は自動車、半導体、家電、次世代エネルギー、ヘルスケア、環境保護の六大分野に向かって展開していく。



# 投資奨励



租税優遇



研究開発補助金



専門区への優遇



グローバルな人材  
誘致奨励措置

# 投資奨励-租税優遇

研究開発支出の  
営利事業所得税低減

最高 **15%**

未処分利益による  
実質的な投資

営利事業所得  
税の追加徴収  
免除

台湾で生産されてい  
ない機器、計器設備  
輸入

輸入関税  
免除

5G／スマート機器／サ  
イバーセキュリティ商  
品・サービス投資金額  
で営利事業所得税低減

最高 **5%**

特許・著作権等費用  
の支払い

所得税免除

# 投資奨励-研究開発補助金

## グローバル研究開発イノベーション パートナープログラム

外国企業が台湾で研究開発センターを設立する場合、最高で総合研究開発経費の50%の補助金を獲得できる。

## 先端技術研究開発計画

先端技術を開発する場合、最高で総開発資金の40%～50%の補助金を獲得できる。





# 投資奨励-専門区への優遇

## 一般租税優遇

1  
輸入は輸入税、貨物税、営業税を免除  
原料／燃料／材料／半製品／機器設備

## 2 営業税ゼロ

貨物と労務の国外輸出

課税区から仕入れた原料、燃料、物料、  
半製品、機器設備

### 自由貿易港区

- 台湾で準備または補助の性質の活動のみに従事し、自由貿易港区で仕入れ・輸入・保管・輸送に従事する企業は、その物品販売の所得に対する営利事業所得税が免除される。
- 免除
  - ◆ 酒たばこ税
  - ◆ たばこ健康福祉課徴金
  - ◆ 貿易推進サービス料、商業港サービス料

### サイエンスパーク

#### 研究開発補助金

- ◆ 最高新台幣ドル1,000万元
- ◆ 申請した研究発展計画経費総額の50%

# 投資奨励-グローバルな人材誘致奨励措置



## 退職保障、健康保険及び租税優遇を提供

- 特定の専門職人員は3年減税
- 健保加入制限を緩和
- 退職保障を強化



## 親・配偶者・子女の停留・居留規定を緩和

- 成年子女の台湾個人就労許可を発行
- 配偶者・子女の永久居留申請規定を緩和
- 直系親族訪問滞在期限延長



## 労働、ビザ、居留規定の緩和

- 4-in-1の「就業ゴールドカード」
- 就職活動ビザ
- 外国フリーランス芸術家の労働許可発行



## 技術による現物出資／従業員向け株式報酬制度の税負担繰延優遇

- 取得株式の当年度課税所得額への算入を免除
- 株式譲渡時に「取得時」または「譲渡時」のいずれか低いほうの価額に基づいて税額を計算

# 投資サービス

- ・ 単一窓口およびカスタマイズサービス



# 投資サービス-単一窓口およびカスタマイズサービス



InvesTaiwan

## ワンストップサービス

万全なワンストップサービスと  
投資サポート

24時間以内に返信

オンライン・オフライン問わず  
24時間以内に返信

## 土地探しをサポート

土地の取得のサポート、  
ご紹介サービスの改善

部会横断的に障壁を排除

異なる階級や部会横断的な  
投資障壁を排除



もっと  
詳しく



### 投資評価

- 重点産業と国を重視
- 台湾の投資機会を広める
- カスタマイズした投資情報を提供



### 投資設立

- 投資潜在性のある企業を訪問
- 部会横断的な会議を通じて投資障壁を排除



### 投資運営

- 海外企業への訪問で投資後の運営状況を把握
- 投資障壁を排除
- 台湾での増資または新たな投資プロジェクトを促進